

# 必見!

## カウンセラーに求めること!

カウンセラーとは……

キャンパーと直接接する役割。キャンパー（研修生）一人一人を良く把握し、班をまとめる。班員の健康状態に常に気を配り、キャンパーの成長を助ける。

カウンセラーに必要な条件……

☆第一に人が好きであること。（特に子供）

=

いろいろな条件があるけれど、まず一番必要なこと。

カウンセラーの基本的な考え☆……

### 1) 無条件の肯定的関心

キャンパーの「その時のあるがまま」を受け入れる。カウンセラー自身の考え方を押しつけては行けない。

### 2) 共感的理解

カウンセラーにとって苦手と思えるキャンパーでも「好き」「嫌い」「ひいき」等の感情を持たず、すべてのキャンパーと平等に接する。

### 3) カウンセラーは特別ではない

☆「やむをえない」場合を除き、キャンパーから離れず、キャンパーと行動を共にすること。

☆カウンセラー同志で集まって行動しない。

カウンセラーの具体的な活動……

### 1) キャンパー（研修生）との接し方

威圧的なものも、慣れ慣れし過ぎるのも良くない。カウンセラー自身の中で「今は一つの目的にみんなで行き組むとき」「今はそうでないとき」とけじめをしっかりとつけること。

## 2) ほめ方

いろいろな場面でほめることを探し、ほめることが何もなくてもなにか認めてあげられる点を探す。小さいことでも良いことは見逃さず、ほめたり認めたりする。「余計なこと……」と思っても、まずほめてあげて、それから「でもね…」等を続けて教えさすように話す。

## 3) 叱り方

危険回避（生命の危機）の場合は、ためらわず、あらゆる手段を講じてこれを阻止する。原則として（危険回避以外）いきなり叱ったりせず、相手の考えや行動を一度認めてから、その後で「そうしたらどうなるか」「この方法はどうか」などと良い方向へ導く。小さな過ちを取り上げてガミガミ言わないこと。

## 4) 自ら行動する

カウンセラーは自ら積極的に仕事を見つけ行動する。ただし、キャンパー（研修生）のやるべき仕事を取り上げないこと。

## 5) わかりやすく注意する

「気をつけて」ではダメ！「なに」に「どう気をつける」を具体的に注意する。例えば野外炊事で『なた』を使うとき、「けがをしないように、軍手をきちんとつけて、回りに人がいないか確認して使うんだよ」など。この場合、正しい使い方を見せてあげてもよい。

## 6) キャンパー（研修生）の観察

元気のないキャンパー（研修生）がいたら、もともとおとなしい性格なのか、班に溶け込めていないのか見極める。キャンパー（研修生）一人一人が、普通はどんな行動をするのか、どんな反応をするかよく見ておき、変化を敏感にとらえる。変化が起きたら、会話などから原因を見極め、対処する。体の調子が悪い場合はすぐに連絡をとる。精神的な場合は、なぐさめたり、元気づけたりする。

（直接聞き出さず、そっとしておく方がよい）

## 7) 自己防衛（Self Defence）

自分の体調や精神状態をベストに保つようにする。キャンパー（研修生）と同様に睡眠時間を取り、キャンパー（研修生）と同様に食事をしっかりとる。

カウンセラーとして頭に入れておかなければならないことは他にもたくさんありますが、ここでまとめてある内容はぜひおぼえておいてください。